

# 部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

<b>部局名</b> 総務部	<b>部局長名</b> 石走 直伸
----------------	-------------------

部 局 の 経 営 資 源	当初予算	121.9億円		
	構 成 人 員	職員	嘱託	計
		152人 <small>(防災安全課, 契約検査課, 監査事務局, 選挙管理委員会を含む)</small>	16人	168人

部局の使命 (組織の存在価値)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実行力・意欲のある<b>職員の育成</b>, <b>職員の健康管理</b>への配慮, <b>健全な職場環境の確保</b>により, 市民ニーズへの適切な対応, 行政サービスの質を向上させる。</li> <li>2 コスト意識を重視した<b>事務事業の峻別</b>, 限られた財政資源の<b>効果的・効率的な配分</b>等の継続的取組みにより, <b>自立性が高く持続可能な行財政基盤を確立</b>する。</li> <li>3 <b>公正・適正な課税</b>, <b>厳正な収納対策</b>, <b>公有財産の利活用</b>等により歳入を確保する。</li> </ol>	組織目標像	<p><b>【施策の目標像】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 中長期財政運営指針に定める各<b>指標目標値を達成</b>し, 自立性・弾力性のある<b>安定した財政構造が確保</b>できている。</li> <li>2 <b>納税意識の高揚</b>, <b>収納対策の向上</b>により, <b>所要の歳入が確保</b>できている。</li> <li>3 <b>指定管理者制度の活用</b>・未利用市有地の処分等により, <b>施設の効率的な運用</b>・<b>公用財産の適正管理</b>ができている。</li> </ol> <p><b>【組織の目標像】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>市民本位のサービス改革</b>に果敢に挑戦できるような<b>職員・職場</b>となっている。</li> <li>2 <b>旺盛な勤務意欲</b>, <b>適確な対応</b>, <b>適切な判断</b>ができる職員による組織となっている。</li> <li>3 部内・課内の<b>応援体制</b>などにより, 行政課題に<b>迅速・柔軟</b>に対応できる<b>組織</b>となっている。</li> </ol>
--------------------	--	-------	--

## 平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標 (めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
人材育成 【総務課】	職員人材育成基本方針 <b>登載事項の計画的な実施</b> 現行水準以上の研修の実施	上司・部下間の <b>コミュニケーション研修</b> <b>モチベーション向上研修</b>	管理監督者を対象に <b>コミュニケーション能力向上研修を実施</b> した。 若手職員を対象に <b>モチベーション向上研修を実施予定</b>	コミュニケーション能力向上研修(管理監督者) モチベーション向上研修(勤続10年未満の若手職員) クレーム対応研修(課長代理級職員)

# 部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成20年度

<p><b>職員の健康増進</b> 【総務課】</p>	<p><b>病気休暇取得者数・休暇日数の減少</b>【前年度比較】</p>	<p><b>メンタルヘルス相談・研修 職場復帰支援プログラム策定</b> 定期健診等を踏まえた<b>健康指導</b></p>	<p>衛生管理者による<b>メンタルヘルス相談を随時実施</b> 医師相談及び全職員を対象とした<b>メンタルヘルス研修を実施予定</b> 円滑な職場復帰のための<b>職場復帰支援プログラムを策定</b> 定期健康診断結果に基づく<b>要指導者以上対象職員の個別フォローを実施予定</b></p>	<p>衛生管理者によるメンタルヘルス相談を本庁・支所で随時実施 また、医師相談の実施とメンタルヘルス研修会を実施 メンタルヘルス疾患の9名が職場復帰支援プログラムによりスムーズに職場復帰 健診受診後の結果報告会での個別指導の実施や生活習慣病予防教室を実施</p>
<p><b>公平・公正な人事評価制度</b> 【総務課】</p>	<p><b>人事評価（2次試行）の実施</b></p>	<p><b>2次試行（グループ長以上を対象）</b></p>	<p>グループ長以上を対象とした<b>2次試行を実施中</b></p>	<p>グループ長以上を対象とした<b>2次試行を実施。</b></p>
<p><b>市制施行5周年記念事業</b> 【総務課】</p>	<p><b>推進体制の確立 実施予定事業の決定 関係機関への要請</b></p>	<p>他市の取組状況調査 各課冠事業の調査・集約 候補事業の選定（実施時期等を含む） 事業費の予算化 関係機関への事前要請，事業内容の調整 組織の設定，要員の確保</p>	<p>他市の取組状況について調査を実施 全課への調査を実施し集約 関係課ヒアリングや庁内検討委員会において候補事業を検討中 主管課にて精査中 自衛隊，NHKほか関係機関と協議した。 庁内検討委員会を2回開催 市民懇談会の設置を準備中</p>	<p>実施済 実施済 新規事業3事業 冠事業37事業（市主催等：20事業，他団体主催等：17事業） 市勢要覧発行に決定 新規事業3事業の7,165千円のほかに，市勢要覧作成費として7,500千円，冠事業で5周年分として、鹿島地域交通死亡事故ゼロ22,000日達成記念事業に250千円，八重山高原星物語184千円，市民運動会に145千円，川内川河口マラソン・ウォーキング大会に300千円，薩摩川内はんや祭りに1,000千円，合計16,544千円が予算措置</p>

# 部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

				<p>なんでも鑑定団は、製作会社と事業内容について協議し、現在お宝及び観覧者の募集中</p> <p>記念式典事業においては、市政功労者推薦の準備中及び市民歌披露の関係団体と協議中</p> <p>NHK公開番組においては、2月に「歌の歌謡曲」に決定。</p> <p>平成21年1月1日付で事務局体制（専任：事務局長，併任：総務課長代理，企画総務G，推進検討委員会委員）</p>
<p><b>新人事給与システム</b> 【総務課】</p>	<p><b>新人事給与システム導入</b> (平成22年度導入)</p>	<p>課内における導入体制の確立 スケジュールの策定 業者選定・更新方法の決定</p>	<p>課内の導入体制の整備を図った。 スケジュールを調整し<b>平成20年度導入と定め、導入作業に着手</b> 導入検討委員会において業者選定を行うとともに、更新内容の検討を実施</p>	<p>新人事給与システムについて、平成21年3月末までの導入完了</p>
<p><b>持続可能な財政構造の確立</b> 【財政課】</p>	<p><b>健全で効率的な財政運営の推進</b>（当面は、指針目標値の達成） <b>安定した財政基盤の確保</b></p>	<p><b>新たな財政計画の策定</b></p>	<p>新たな財政計画の策定に向けた準備</p>	<p>新たな財政計画の策定に向けた準備</p>
<p><b>新地方公会計制度</b> 【財政課】</p>	<p><b>財務関係情報の積極的開示</b> 新たな公会計制度に対応した資料を作成・公表（H20年度決算から実施）</p>	<p><b>連結財務諸表4表の作成・公表</b>に向けた準備</p>	<p><b>4表作成の前提となる公有財産台帳作成業務</b>（土地1.3万筆，建物2,300件）の委託契約締結（6月）</p>	<p>公有財産台帳の整備（一部） 連結対象範囲の決定 連結財務書類作成に向けた準備</p>

# 部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

<p><b>新財務会計システム</b> 【財政課】</p>	<p><b>財務関連事務の効率化・省力化</b> <b>新財務会計システムの導入</b> ( H 22 年度当初予算編成作業時 ( H 21 年秋以降 ) から導入 )</p>	<p>新システムの導入に向けた準備</p>	<p><b>新システム開発の委託契約締結 ( 6 月 )</b></p>	<p>整備機能の内容確定 システム開発作業開始 各種項目設定作業の開始 ( 歳入・歳出予算 )</p>
<p><b>指定管理者制度検証</b> 【財産活用推進課】</p>	<p><b>検証手順の確立 ( 年度末までに作成 )</b></p>	<p>モニタリングマニュアルの作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングマニュアル, 評価マニュアルを作成</li> <li>・10月～12月においてモニタリング・評価を試行予定</li> </ul>	<p>モニタリングマニュアル 評価マニュアルを作成 10月～12月モニタリング・評価を実施</p>
<p><b>分譲団地の販売促進</b> 【財産活用推進課】</p>	<p><b>販売目標</b> <b>= 5 区画 : 2,000 万円</b> ( 年度末 )</p>	<p>市HP・新聞・住宅情報誌等へ掲載し, <b>早期販売を促進</b> 県宅地建物取引業協会との「<b>購入者紹介に関する協定</b>」の締結</p>	<p><b>田代ニュータウン 2 区画売買契約締結</b> 契約金額 : 1,038 万円 県宅地建物取引業協会と<b>協定締結について協議中</b></p>	<p>田代ニュータウン 2 区画売買契約締結 契約金額 : 1,038 万円 平成 2 1 年度に県宅地建物取引業協会と協定書締結予定</p>
<p><b>未利用土地の転用・処分</b> 【財産活用推進課】</p>	<p><b>処分目標 = 1 億円 ( 年度末 )</b></p>	<p>処分・貸付可能な土地の<b>積極的な処分・貸付</b></p>	<p><b>保育園敷地等 17 件売買契約締結</b> 契約金額 : 8,232 万円 契約面積 : 26,638 m<sup>2</sup></p>	<p>保育園敷地等 3 3 件売買契約締結 契約金額 : 14,730 万円 契約面積 : 58,493 m<sup>2</sup></p>
<p><b>効率的な車両管理</b> 【財産活用推進課】</p>	<p><b>稼働率 : 8 5 % 以上</b> <b>マイクロバス削減台数 : 1 台</b> ( 3 台 2 台に )</p>	<p><b>公用車集中管理の本格実施</b> <b>マイクロバスの削減</b></p>	<p><b>68 台で運用中</b> 稼働率約 79.6% 削減車両の調整中</p>	<p>稼働率 8 4 . 6 % / 年 マイクロバス 1 台削減調整済 ( H 2 1 で処分予定 )</p>
<p><b>固定資産現況調査</b> 【税務課】</p>	<p><b>家屋全棟調査の完了</b> <b>平成 21 年度課税への反映</b></p>	<p>本土地域 : 2 次調査 甌地域 : 1・2 次調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次調査 : 進捗率 = 100</li> <li>市内全地域 86,023 棟調査終了 ( ~ 8 月 )</li> </ul>	<p>市内全地域 : 2 次調査 ・進捗率 7 4 . 2 1 % ・対象棟数 7 , 6 1 3 棟中 5 , 6 5 0 棟終了</p>

# 部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

			<p>・2次調査： 進捗率 = 44.14 甌全地域終了 市内全域 7,613 棟中，3,361 調査済</p>	<p>川内地域全域及び樋脇地域の一部を終了。(H21年3月) 樋脇地域の残り，入来地域，東郷地域及び祁答院地域は，平成21年度終了予定。 (残対象棟数 1,963 棟)</p>
<p><b>使用済核燃料税条例</b> 【税務課】</p>	<p><b>新規条例可決</b> <b>総務省の同意</b></p>	<p><b>電力事業者との協議・調整</b> 条例(案)の調製 (可決後)総務省への協議</p>	<p>期間延長・税率引上げについて電気事業者から同意〔7/23〕 市議会において<b>条例可決</b>〔9/26〕 総務省へ<b>協議書を提出</b>〔10/8〕</p>	<p>総務大臣同意〔12/26〕</p>
<p><b>市税等の収納率向上と滞納処分の強化</b> 【収納対策課】</p>	<p><b>前年度収納率実績以上を確保</b> 〔暫定目安〕 市 税 現年度分 = 98% 滞納繰越分 = 10% 国保税 現年度分 = 94% 滞納繰越分 = 10%</p>	<p><b>電話・臨戸徴収による早期催告</b> <b>納税相談</b>(個別面接による実情把握，適正・公平な納税指導) <b>滞納処分</b></p>	<p>電話，臨戸徴収による早期催告の実施 納税相談(個別面接)の実施 滞納処分(差押)・換価処分(公売)の実施</p> <p>差押：39 件 交付要求：56 件 公売の実施 2 件：7,392 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間電話催告の実施</li> <li>・長期滞納者への文書催告の実施</li> <li>・滞納処分(差押)の実施</li> <li>・換価処分(公売)の実施</li> </ul>
<p style="text-align: center;">年度中間総括</p>	<p>メンタル面を含め病気休暇等職員が依然として増加傾向にあることから，職員の健康増進については今後とも継続して取組みたい。</p> <p>内部検討が進められている市制施行5周年記念事業については，今後，懇談会の意見等を踏まえ，予算化に向けた取組みを行う。</p> <p>新人事給与及び新財務会計の各システム導入に関しては，導入次期を見据え，今後とも計画的な事業推進に努めたい。</p> <p>指定管理者制度の検証作業については，今般策定したマニュアルをもとに試行を行い，簡素で実効性のあるシステム構築に繋げることとしたい。</p> <p>使用済核燃料税条例更新については，計画どおり条例可決・総務省への事前協議を終えた。総務省の同意を受けた後，所要の規則改正を行うこととしたい。</p> <p>市税等の収納については，監査及び議会からもなお一層の努力を求められていることから，引き続き，早期催告・納税相談の実施や滞納処分の強化に努めたい。</p>			

# 部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

年度末総括

職員のメンタル面の対応として上司部下のコミュニケーションやメンタルヘルスの研修を実施したほか、長期療養者については衛生管理者や臨床心理士による相談など職場復帰支援プログラムによるスムーズな職場復帰に努めた。

市制施行5周年記念事業については、市民懇談会の意見等を踏まえ、平成21年度予算に反映した。

新たな人事評価システム及び新人事給与システムの導入については、計画どおりに事業推進が図られている。

持続可能な財政構造の確立に関しては、22年度に予定している総合計画下期基本計画、次期市政改革大綱の策定・見直しと連携しつつ、財政計画策定に向けた関係課との協議・調整を重ねている。

新地方公会計制度については、新公会計制度に基づく20年度決算分の連結財務諸表による公表に向け、連結対象会計・団体を決定し、また、公有財産台帳整備を実施中である。

新財務会計システムに関しては、新財務会計システムの22年度当初予算編成作業からの一部稼動に向け、搭載機能の内容を確定し、開発作業と項目設定作業を継続中である。

指定管理者制度検証については、モニタリングマニュアル、評価マニュアルを作成し平成21年度に本格実施する。

分譲団地の販売促進については、販売が進まない。平成21年度に県宅地建物取引業協会と「薩摩川内市有地売却の媒介に関する協定書」を締結予定。

未利用土地の転用処分については、処分目標額を達成した。

固定資産現況調査については、平成20年度で川内地域全域及び樋脇地域の一部を終了し、樋脇地域の残り、入来地域、東郷地域及び祁答院地域は、平成21年度で終了予定である。

使用済核燃料税条例更新については、計画どおり条例可決・総務省への事前協議を終えた。12月に総務省の同意を受け、所要の規則改正を行った。

市税等の収納率向上と滞納処分の強化については、夜間電話催告や長期滞納者への文書催告による納税促進を行うとともに滞納処分(差押)や換価処分(公売)の実施をし、収納率向上に努めた。